

議会から届けた皆さんの意見・要望に市長から回答がありました

前号(2月15日発行)でお知らせしておりました市長への意見・要望(議会報告会の議論をまとめたもの)に対して、次のとおり市長から回答がありました。(※内容については、要約して掲載)

関連する記事は、
こちらで見れます



○大牟田市動物園・延命公園周辺を核とした観光客の回遊性向上

【意見・要望】

動物園で学生主催のイベントを開催し、体育館などでのイベントと連携させることで、集客向上と延命公園周辺の回遊性を生み出してほしい。また、延命公園周辺から市内へ人を呼び込むため、動物園やともだちや絵本美術館と連携し、絵本の世界観の町並みを再現することや、キャラクターの設置なども検討してほしい。

【回答】

延命公園地区の魅力向上、回遊性向上に向けては、庁内関係部署間で協議・検討を進めています。

学生主催のイベントは、にぎわい創出に有効な取組であり、動物園と協議の上、実施したいと考えています。また、絵本の世界観の町並みを再現することやキャラクターの設置については、今後、長期的な視点で検討をしていく必要があると考えています。

さらに、市公式観光サイト「おおむたOne plate」のQRコードを掲載したチラシを作成し、動物園や公園内の施設に設置することで、来園者が公園内を楽しんだ後に飲食店や観光スポットを回遊できるようにしたいと考えています。このほか、官民連携により、回遊を促す取組を進めていきます。

《具体的な検討内容》

①案内板の設置(SNS撮影スポットとしても活用できるようなデザインを検討)、②公園内の散策マップの作成、③付近の道路に愛称を付ける取組、④新体育館の開館に合わせたイベントの実施

○動物園でのイベントによる集客向上と情操教育

【意見・要望】

動物園については、集客向上の施策として、多くの学生から動物との触れ合い体験や餌やり等のイベントの開催が提案されていることから、子供たちの情操教育の観点も踏まえ、これまでのイベントの継続に加え、新たなイベントの開催にも取り組んでほしい。

【回答】

動物園では、モルモット、レッサーパンダ、キリンの飼育施設の整備を進めていく予定です。今回の整備で、来園者にさらに楽しんでもらえるような新たな展示・観察イベントを企画・実施することとしています。

動物園では、「動物福祉を伝える動物園」として、動物たちの生活の質の向上を目的とした様々な取組を通して、動物福祉について理解を深めてもらう努力と工夫を重ねてきています。その中で、ライオンの肉探しタイムをイベントとして来園者に見てもらおうことなど、動物へのストレスにも配慮しつつ、直接的に動物に触れなくても楽しんでいただけるような創意工夫を重ねています。また、動物に直接関わる飼育員体験などの人気イベントも継続して行っていきます。

動物に直接触れることについては、動物のストレスを伴うことから動物福祉の点では難しい面もありますが、子供たちをはじめ全ての来園者に、参加型・体験型のイベントを通して、命の大切さを伝え、生き生きとした動物の姿を楽しんでもらえるよう、引き続き、指定管理者とも協議しながら、創意工夫を重ね、様々な新たなイベントに取り組んでいきたいと考えています。